

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動学習支援教室ふれんず秋田南教室（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 3日 ~ 令和 7年 2月 17日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 10日 ~ 令和 7年 2月 14日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 21日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが充実している。	・運動療育では、粗大運動や微細運動、ルールのある遊び等を通して、楽しく身体を動かす活動をしている。 ・学習療育では、運動からの切り替えを通して、落ち着いて集中する習慣づけを行っている。	活動の固定化防止やお子様が飽きないようにとの観点から、日々の振り返りをもとにミーティングを行い、内容の検討・改善を行っている。
2	職員に経験豊富な療育保育士がいる。	現場経験が豊富な療育保育士が在籍しており、活動プログラムや生活支援などお子様に寄り添った支援ができる。	他の職員の資質向上のため、研修や勉強会の必要性を感じている。
3	お子様および保護者様の満足度が高い。	保護者様との連絡を密にし、ニーズの把握や問題解決の助言など優先順位を高くして対応している。	比較的連絡頻度が低い保護者様に対しても家族支援の観点から、情報共有や共通理解のために積極的に関わる体制を整える必要性を感じている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部連携全般（地域、その他の施設等）ができていない。	お子様の利用時間が短いことと、教室での活動プログラムがあるため、なかなか外部と関わる時間を取れていない。	定期的なイベントを開催しているので、事前告知に力を入れて、広く参加していただけるようにしていかたい。
2	非常時の対応や訓練に対する認知度が低い。	定期的に災害等発生時の対応や避難訓練等を実施しているが、保護者様にあまり周知いただけていない。	実施記録や活動の様子などを積極的に発信していく。
3	ペアレントトレーニングに関する認知度が低い。	研修を受けた職員が在籍して実施体制を整えているが、保護者様に周知できていない。	保護者様に情報発信していくことで再度周知を図り、要望があった時に迅速な対応ができるようにしていく。